

地質科学関連学協会連合
第2回年代区分検討委員会議事録

日時：2005年10月21日（金）15:00～17:00

場所：日本地質学会事務所

出席者：盛谷智之（東京地学協会）、角替敏昭（岩鉱学会）、新妻信明（地質学会地層名委員会）、斉藤享治（日本地形学連合）、兼岡一郎（地質学会地層名委員会）、宮地良典（地学団体研究会）、柳沢幸夫（産総研）、斎藤文紀（第四紀学会）、保柳康一（地質学会地層名委員会）、小坂和夫（応用地質学会）、齊藤靖二（地質学会会長）、天野一男（地質学会地層名委員会）

議題：

（1）国際対応の体制について

◆ 第三紀・第四紀問題に関連する国際委員会への現在の対応

・ IUGS/ICS の小委員会

Subcommission on Neogene Stratigraphy

土 隆一・小泉 格

Subcommission on Quaternary Stratigraphy

熊井久雄

Subcommission on Stratigraphic Classification

長谷川四郎・高柳洋吉・天野一男

（2）国際的情勢

◆ IUGS/ICS の状況

Leuven 会議における決定

「Quaternary は sub-erathem /Sub-era（亜代）の正式用語とし、下限を Gelasian Stage の基底（2.6Ma）とする。Tertiary は sub-era の使用可能な非正式用語とする。Quaternary Sub-erathem /Sub-era は Neogene System /Period の上部に対応させる。」
2008年のIUGSにおいて承認を受ける予定。

（3）地質科学関連学協会連合としての対応

◆ IUGSの承認まで（2005年？2008年？）

- ・ 時代区分については、旧来の Harland(1989)に従う。
- ・ 年代値については最新のものを採用する。
- ・ 2008年まで使う時代区分の大枠は、地質科学関連学協会連合で早急に作成し、周知する。
- ・ 地球惑星科学連合とも連絡を取る。

（2）今後の活動

1) ICで本当に決めるのか？ IUGSで承認が必要（天野確認）

2) 2008年ICまで待つ。

当面、従来通り。時代区分についてはハーランド（89年）に従う。

年代値についてはREFERENCEを明瞭に示す。

数値は新しいものを使う。

学協会連合バージョンを作る（天野）惑星科学連合の同意もトル。

ISCに宣言。

熊井さんにニュース原稿を依頼。

次回委員会： 1月7日（土）13:00 15:00